

233

至親
急展

三
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

暗號

...

...

...

第十...

- (一) 醫務科一五(五) 無章七一(二九) 軍醫兵曹四
- (二) 工作科三(一) 金工二(〇) 木工一(一)
- (三) 看護科二三(九) 看護二(九) 無章二(〇)
- (四) 主計科五八(一三) 簿記三(二) 圖二(二) 無章五三(九) 吳
銀(二一六) 五
- (五) 水兵科一九三(三七) 砲二(一) 一(一) 測九(四) 無章一六三(二二)
- (六) 機關科一二(四) 內火六(〇) 無章六(四)
- (七) 看護科五四(二)
- (八) 主計科無章七(三) 在籍(六四) 四六
- (九) 水兵科七三(三五) 砲三(一) 一六(無章五) 三(無章二) 二(無章
八(三) 測七(五) 無章五(六)
- (十) 機關科八(五) 內火二(〇) 大砲要員四(四) 無章二(一)

第十編

海軍

第十信

五 陸科五 (四) 金五二 (二二) 米五三 (二二)

何 主野林三 (二二) 陸二 (一) 陸一 (一) (陸) 陸四 (一一)

何 水兵科三三 (一一) 陸六 (四) 陸三 (二二) 陸三 (二二) 陸

五 (一) 陸一 (一) 陸二 (二)

何 陸科一 (一) (一) 野士官七 陸士官四 陸士官三 陸士官四 一 九

兵一二五〇 合計一七二四

陸 陸 水兵科字一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

海 3 軍

230

作戰緊急

三一六

受信開始 〇〇八二八

譯了 〇八五〇 電 〇六八五九

航作 概 〇

● 聯合艦隊口

● 總無線艦所用共通符號

● 第一、第三、第五、第一〇各航空艦隊口

機密第一六〇六〇〇番電

發 第四艦隊參謀長

天候不良、爲PU偵察ヲ明十七日ニ延期ス。

通七八九八 呂一B (一七六三〇K) (四通)

235

三一六

受信一八五〇七五

一八九二九

電〇七一一二

人事

親展

● 東 通

暗號 秘

機密第一六一二三五番電

陸 第十一根據地隊司令官

宛 人事局長

佐々木(六六六)後藤(一六四五)ノ事務引繼本月二十日頃終了ノ

見込。

第十信課

通八〇七三

四一〇(一七五九〇)ノ十通

海 軍



第十信線

三一通第五分遣隊・テゴス航空基地

機密第一六一六四五番電

發 三二特根司令官

宛 佐世保人事部長 人事局長

通報 第三南遣艦隊司令長官 二二五設營隊

植原 (一一二二二佐世保鎮守府附) 發令アリカル處第二二五設營隊

ハ幹部二名齋川波 (舊) シ一六〇〇一) 中隈 (ソ四〇五六) 戦破缺員

中ニシテ之以上ノ減員ハ忍ビ得ザルニ後任者ナシ後出發セシメ尙航

空便ニテ旅行モタバオ方面ハ目下杜絶ノ如キ狀況ニ鑑ミ此ノ際植原

(ホ一一二二二) ヲ二二五設營隊附再發令ノコトニ配慮ヲ得度。

通八二七〇 呂二B (七八五五K) 三二通 海軍

237

緊急親展

三 一八 〇〇九〇三五

〇〇七〇一〇

〇〇七〇九四三〇

人

三十一番第五分道

三十三番第一分道

號車極

一九二一年三月二十二日

〇〇九〇三五

一九二一年三月二十二日

一九二一年三月二十二日

一九二一年三月二十二日

一九二一年三月二十二日

八廿四廿六

天五月三十一日

軍

第... 十信 課

第十卷

〇〇（小川）三三五九（東海）二五三三

三月二十一日

〇〇（小川）三三五九（東海）二五三三

三月二十一日

〇〇（小川）三三五九（東海）二五三三

三月二十一日

〇〇（小川）三三五九（東海）二五三三

三月二十一日

〇〇（小川）三三五九（東海）二五三三

〇〇（小川）三三五九（東海）二五三三

〇〇（小川）三三五九（東海）二五三三

〇〇（小川）三三五九（東海）二五三三

〇〇（小川）三三五九（東海）二五三三

海軍

并 廣 (ノ三三三三)

少 廣 (ノ三三三三)

其ノマニシ「」ハ 廣 (ノ三三三三)

其 廣 (ノ三三三三)

其 廣 (ノ三三三三)

其 廣 (ノ三三三三)

其 廣 (ノ三三三三)

其 廣 (ノ三三三三)

其 廣 (ノ三三三三)

其 廣 (ノ三三三三)

其 廣 (ノ三三三三)

其 廣 (ノ三三三三)

其 廣 (ノ三三三三)

其 廣 (ノ三三三三)

其 廣 (ノ三三三三)

其 廣 (ノ三三三三)

其 廣 (ノ三三三三)

其 廣 (ノ三三三三)

第十課

海軍

239

親展扱

三三一

昭和十一年三月三十一日

昭和十一年五月三十一日

昭和十一年八月三十一日

昭和十一年十月三十一日

保身要志

傍

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

昭和十一年三月三十一日

丁山原中野村役所第一回臨時臨時大會（十七日一八二〇部）北
 緯二八度四〇分 東經一三二度二五分）ニ不時着敵機墜落、交戦中
 人死ナ
 丁山原方面ニハ敵機ニ任セシムル事懸念ナキニ付貴方ニテ救出方面
 急取計ハシ度

海軍

昭和十一年三月三十一日

海軍

安部一徳

第百十課

200



三 一八 受信一九四〇七 請了二〇二三 電〇八二一六五 作 機〇

第一警備部隊第二掃海隊 第一警備部隊第一掃海隊

機密第一八二二三七番電 二分ノ一、二

發 第一警備部隊指揮官

宛 第二南遣艦隊隊長官十方面艦隊司令長官

十五日マサレン島東方へ五度三〇分一一四度三〇分ニ於テ獲タ

ル機密軍中尉二名ノ言要旨

一十五日マサレン島附近ニアリシ敵潜水艦ハ支那海方面ニ行動ノ

任務ヲ有ス

二不時着飛行機搭乗員救助ヲ目的トス同島附近ニモ不時着機アリシ

報ニ接シアリ連絡法機中電光明滅

源九三七三・九三七二 天二七ヶ六(一八三六七五)(二一)

241

4

三
二
一
受信
〇四三
〇〇五
調了〇五四〇
電〇九九一四
補
人◎

新表

陪號
機密第一九一四三五番電

局長	課長	A	B	C	D	E	F

發 南西方面艦隊參謀長

宛 人事局長

南西方面艦隊機密第一七一五二番電訂正追加ス

阿保(三二九四)増田(シ二八三)木村(夕四二〇)以上三名處方

接點 在ルコト確實。

通一〇三二スレ。(一〇二六五〇)五FGB
海軍

第十課

242

第九九七八 口二〇ケ五(一八三六一・五四)二一海軍

三一九 受信一八七三〇 譯了一九〇七 電〇八七三〇 人事

● 東 通 ● 二 二 根 P

機密第一九一六一〇番電

人事局長

當隊機密第三一一五(一五番電)(十二月)關聯

當隊附小山(三一〇六)交代方至急御配慮アリ度。

第電十信課課

東京 243
コトス

三二〇
受信開始 〇〇八〇五〇
譯了 〇九三五
電自 〇〇九〇一三〇
人事

機密第一一九二〇
二番電
四分ノ一、二、三、四

局長	局				
副局長					
A					
B					
E					
J					

發 第十方面艦隊司令長官
貴機密第一七一六〇〇番電關聯

一方面艦隊幕僚ハ特別ニ強化ヲ要望シ居ル次第ニアラズ定員タル參謀副長主計長丈ハ配員セラレザレハ隊務遂行ニ差支アリ特ニ要望セシ次第ナリ

■面シテ之等ノ人々ハ南方限リ充分ナル遺繰可能ト認ムルニ付左案

通一〇二五五
通一〇二七五
通一〇二七三
呂二B (六二三三五K) 一〇通
海軍

第十信課

實現方取計ハレ度

小野田（五九六）ヲ參謀副長ニ任命アリ度主トシテ作戰ノ面ヲ擔任セシメ度石田（七八三）ハ物ノ面ヲ擔當セシメ度陸軍トノ折衝等ノ關係上内令第四七號ニ依リ之レ亦參謀副長トセラレ度
 責任主計長ハ當方面ノ實情ヲ見タル上更メテ要望ノコトトス
 三 高雄妙高今同海陸兩面防禦ニ使用
 ルニ付高雄小野田ノ後石坂（一〇八一）（舊知床艦長昭南滯留中）
 妙高加賀山（五五四）後阿部（舊サ一四九九）トサレ度
 三 轉任旅行滯留者各地多數アリ所在最高指揮官ニ於テ臨時勤務ヲ課スル等活用ニ意ヲ用ヒツツアルモ一旦轉任發令セラレタル滯留者ハ其ノ儘ニテハ事實使ヒモノニナラズ一方轉勤便ノ見込モ立タザル實情ニ付滯留者中當方ノ要望スルモノハ成ルベク要望實現ノコトニ取計ハレ度具體的ニハ別電ス。

第十信課

244



三 二〇 受信 二二〇〇 譯了 二二〇五 電 〇〇九三六六 航作 本概 〇

● 木更津 航空基地

● 鹿屋 航空基地

● 大海 参一部 聯合艦隊 航空基地 第十航空艦隊 航空基地

機密 第二〇一七三二番電 二分ノ一、二

發 第三航空艦隊參謀長

一、天一號作戰發令サレタル場合當艦隊ハ左ニ依リ作戰スルコトト致度

(イ) 敵機動部隊ガ土佐沖方面ニアル場合ハ東海 關東 (一部) 方

面ヲ中繼トシ特別攻撃隊攻撃ヲ實施 (司令部木更津)

(ロ) 敵ガ小郡沙美島方面ニ後退セル場合ハ九州方面ニ移動作戰ス (司

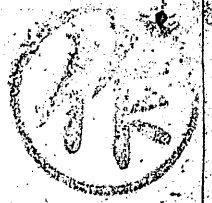
司令部ハ鹿屋ニ移動)

第三航空艦隊一〇△ヲ作戰可能全兵力約三五〇機九州方面ニ移ハ動
ノ際ニ於ケル配備基地其ノ他ニ關シ貴意承知致度

作戰要領案二十一日飛行便ニ托送ス。

通 一〇六四六、一〇六三五 呂二B (B) 木更津

245



三二〇 受信二三三八 譯了二一、〇〇二〇 電〇九三九二作艦本
開始二三三五

支那方面艦隊

◎ 大海參一部・聯合艦隊

◎ 第二遣支艦隊

機密第二一〇一七

瑞	香	A	L	山	赤	赤	赤
元	電	B	K	下	赤	赤	赤
		E					
		J					

三 杜島ノ警備兵力ハ現在陸海軍各一個中隊ニ過ギザルガ爲來攻ニ際シ
テハ之ガ長期確保ハ困難ナルノミオラズ斯カル沿岸飛行場ヲ使用シ得
ル機會少キヲ以テ之ヲ破壞スルヲ可ト認メラルル處實見承知致慶

通一〇六九六 呂二Bハ七軍六三C(上陸三浦)兩谷)

246



親 至
展 急

三 二一
受信二〇二七
譯始二一四五

譯了二四四〇
電〇九八三〇

作機〇
航本〇

局長	聯合艦隊	東通
一課長	艦隊	〇
A	〇	方
B	艦隊	〇
E	〇	下
J	〇	〇
G	H	〇
F	〇	〇

機密第二二一七五三番電

通電先 第十方面艦隊

參考 三F A 五F D 二五F B 第十一根據地隊

通報 大本營海軍參謀部第一部 海上護衛總司令部

威參一電第二七三號威作命甲第四六七號要旨

第十方面艦隊司令長官ハ重要船團ノ印度支那沿岸航行期間中成ルベ

ベク多数ノ戦團機ヲ印度支那方面ニ派遣シ第五飛行師團ト協同船團

ノ進行ヲ實施スベシ。

通一 一 二 一 六 呂一 B 一 六 二 三 八 K 一 一 〇 通 中 結 (土屋)

247

受信
開始
三三三〇

譯了
一三三〇

電電
一〇〇四
四八七

航作
本概
〇

第一護衛艦隊

九〇一航空隊

海上護衛總口

機密第二二〇九四二番電 二分ノ二

九〇一空參謀 (其ノ一)

一 司令部ニ於テ判明セル事項其ノ他左ノ如シ

一 當隊新配備基地ハG B B電令作第四〇八號ノ外現在ノ處豫定ナシ

一 臺灣以南各基地ハ兵力零トナル内意ナリ

一 九五一空ヨリ編入サルル兵力ハ九五一空龍華及舟山派遣隊兵力ノ

外豫定ナシ

一 濟州基地ハ補給ノ關係上二座機程度トスルヲ適當トサレアリ極多

一 一四三六一一四三 (二) Bケ五 (B) 佐通

基地ハ將來朝鮮方面轉進ヲモ考慮シ水偵兵力ヲ更ニ強化シ置クヲ
適當トセラル飛行艇主基地ハ補給基地ノ關係上大村ニ集中スルヲ
可ト認メラル
五 南號作戦ノ再興ハ新兵力配備移行ニ際シ考慮ヲ要セザル内意ナリ
六 特別掃蕩隊戦死者ニ對シテハ二階級進級ヲ考慮セラルヲ以テ速
ニ手續ノ要アリ。

248



三二二

受信一五四〇〇
譯始

譯了 一六〇八

電 一〇一〇二

航作
本概〇

● 第二遣支艦隊 F

● 海上護衛總口 ● 第一護衛艦隊 F

● 海軍省 ● 聯合艦隊 F ● 九〇一空支那方面艦隊 F

機密第二二二一〇三番電

香港厦門第九〇一航空隊派遣隊ノ北上移動ハ大局上已ムヲ得ザルモ
全部ノ移動ハ南支海面哨戒對潛掃蕩海上交通保護其ノ他作戰上大ナ
ル支障アルノミナラズ中繼基地トシテ常時使用ニ應ズル兵力ヲ要ス
且派遣隊充實計畫ニ基ク擴張工事中ニシテ連絡ヲ必要トスルニ付元
第二遣支艦隊直屬程度ノ兵力(水上偵察機啓德三 厦門一)ハ其ノ儘
殘留ノコトニ取計ハレ度

第一一五三五 呂一Bケ五 (一三五二〇KC) 高雄

荷他... 責任者... 得... 現狀... 被... 知... 得... 要... 場... 合
合... 隊... 隊... 貴司... 命... 部... 派... 遣... 援... 助...
... 下... 相... 取... 計... 定... 配

第十回

海軍

250

三三四 受信開始 〇〇四三〇 丁 〇六五〇 電 〇八五二 人事



機密第二三二二五八番電

發 第一航空監隊參謀長

宛 人事局長

通報 臺灣航空隊司令官

中尉 相澤(三七一四九四二) 北菲ヨリ轉送當地(機密)先電報通知ヲ

得度 當方トシテハ臺灣航空隊附ニ發令ヲ要ス

通 二三三一九 呂 二Bヶ五 (四七四二) 五ヶ海 軍

第十信課

287

面

通一二八〇山

天二一Bケ六(一七〇五)高通

富田(猪狩)

臺灣機密第二〇一五三二番電關聯
 情報ニ依ルハ山縣中將搭乘被遭難ニ際シ機密書類ハ敵手ニ渡ルル疑ヒ
 認ムルナリ。

機密第二四一八三〇番電

海軍省副官。軍令部副官
 支那方面艦隊白。高警

緊急

局長		
一課長		
A		平田
B	福崎	山本
E		赤坂
J		
G		
F		

開始二〇三〇

二二〇〇

二一九七

臺北在勤武官

人庫
 全副一合
 官房・電務
 B二

252

三 二六

受信開始〇〇八四一五

譯了二二〇

電自一一九二二四

至急親展

東 通・聯合艦隊口

機密第二五〇八三二番電 三分ノ二二三



發 南西方面艦隊司令長官

宛 海軍大臣 總長

岩淵 (二二四) 三月五日マニラ市内戦闘司令所ニ於テ戦死ト認定

(備考)

認定ノ根據左ノ通

三十一根司令官トノ通信連絡杜絶(△符字)二〇五〇(以後マニラノ戦況左記ノ海軍電トシテハマニラ一移通機密〇五二三〇〇番電ニ依ル一機

通一三四三九一三四四四一三四四五 品一B(七五〇五C)一合口

Handwritten signatures and stamps at the bottom right, including the name '岩淵' and other illegible characters.

曹陳述及九〇一空マニラ派機密第〇六一一〇二發電ノ外見當ラザルトコロ

前者ハ陳述者ノ行動符號セザル點アリ

念ノ爲振武ニ對シ三十一特根司令官最後ノ情況ニ付知ル所アルヤヲ問合セ

タルモ一一移動通信隊機密第〇五二三〇〇(同機曹ト同行セル古川參謀ノ

マニラ出發ハ十三日ナリ)後者ノ報告ハ單ナル聞傳ヘト判明セラル(以下

三符字受脫)東方振點ヨリノ部隊指揮官トシテハ諸據點ヨリノ(三符字不

明)十二望遠鏡ニ依リ詳細二十五日以後モマニラノ戰圖ハ繼續サレ三月

五日頃終了セリトト同内容ノ模様ヲ傳フルノミナリ尙右電内容ノ直接

ナル點再調査ノ件ハ再三殘留部隊ニ問合セタルモ通信連絡不如意ト關係

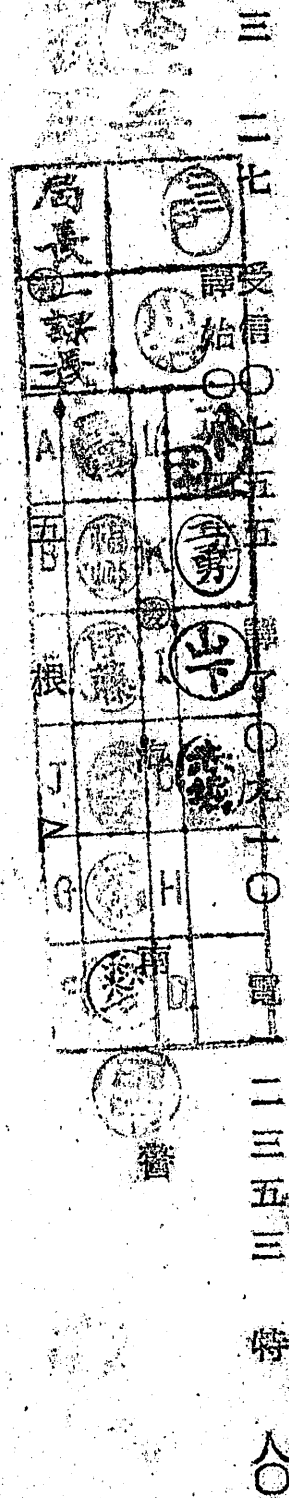
者四散ノ爲未ダ要領ヲ得マ尙第三十一特根機密第二〇一八三五發電ヨリ

判斷司令官ハ部下ヲ殘シ自決スルトハ考ヘラレマ三十一根司令官戰死ノ

事ハ終熄ヲ確認三月五日ト決定セルモノナリ。

253

人



● 高警・佐領・上根▽・三一警
 (通報表示) 人事局・軍令部一部・軍務局

機密第二五一三四一番電

發宛 參謀長

貴機密第二三〇八三〇番電返

四五 大艇 (山縣中將搭乘機) 十七日一〇二〇淡水宛三亞水上基地發一八三〇 (濟州附近ニ不時着一八三五燃料送ラレ度一八四五匪賊ト交戦中) ナル旨發信爾後連絡絶ユ。

通一四一六七 天二B (一八三六七五K) 二一通 海軍

第...
十...
...

254

人

三二五 受信二一三五〇 譯了〇〇一五 電一六九七六 航作 本概〇

親展



第七基地航空部隊作戰命令着信處所・筑波空
燒津航空基地・一〇航空艦隊

機密第二五一八一八番電 二分ノ一二

第七基地航空部隊電令作第一〇五號

一 情報ニ依リハ敵攻略部隊ハ今朝慶良間列島ニ揚陸ヲ開始セリ

二 一號作戰警戒ニ發令セラレ

三 天一號作戰展開第二法用意展開豫定基地夜間索敵攻撃及偵察部隊鹿

屋六〇一部隊第一國分二五二部隊富高二一〇部隊笠ノ原一三一部隊

串良團東京部隊第一國分七〇六部隊陸攻宇佐銀河築城制空部隊出水

第二一攻隊鹿兒島第二二攻隊宇佐第二四攻隊美保展開時機ハ

後令ス

四 各一ハ現配備ニ在リテ極力戦力ノ向上ヲ圖ルベシ。

通一三三三六七 呂一B (B) 木空 (田)

205



二六 受信 〇〇三〇〇
開始 〇〇三〇〇
終了 〇一四〇
電 一一七七五
航作 本機 〇

○ 官高、笠ノ原、串良、出水、築城、國分第一轟航空基地
○ 宇佐空・第五航空艦隊

○ 大海參一部・聯合艦隊口・第三航空艦隊

○ 秘密第二五二〇三三番電 二分ノ一、二

發 三A 阿參謀長

天一號作戰當陸兵力左ニ依リ展開豫定ニ付收容基地作業給養宿營等ニ關シ
可然取計ハレ度

- 鹿屋七五二空陸攻五彩雲一二人員一一〇宇佐七〇六空陸攻九人員一〇〇
- 城七〇六空陸河八人員六〇第一四分六〇一空 零戰三四紫電一二彗星二〇
- 人員 一九〇 陸東空彗星夜戰一二人員五〇串良一三一空天山三〇人員一五
- 〇 官高二五二空零戰四二彗星一六人員一八〇笠ノ原二一〇空彗星一二零戰
- 二四紫電一二人員一七〇出水三四三空紫電一政一六〇彩 五人員二六〇。
- 第一三四〇七・一三四二七 呂(日ケ五)
- 木空

256



三
二二五
二六五
受信二三四一
開始〇〇〇〇
譯了二六
〇〇二五
電一六八七
航作
本概〇

七基地航空部隊作戦命令着信機所
一〇航空隊隊口。筑波航空隊。谷田部航空隊

機密第二二五二二一五番電

七FGB電令作 第一〇七號

七FGB電令作第一〇五號中左ノ通改ム

三天一號作戦展開第一法用意第一基地配備展開予定期日

三月三十日。

連一三四一七 呂一〇分五 () 木空

257

人

三二六

受信一二〇〇九
開始一三〇〇〇

了 一三二七

電 一九六七

作概〇



◎ 一海上護衛部隊
◎ 海護總口

◎ 一護衛艦隊口

機密第二六〇九二三番電

一、一、一 號作戰（南西諸島方面敵攻略部隊）
二、各隊（艦）ハ 待令（中）限（中）現任務續行スベシ。
減 戦「警戒」發令ヤラル

通 一三六三八 天二Bケ六（B）佐通

25A

人

三

二六

受信開始 〇〇二〇五 譯了 〇〇五〇 電一二三三四 人事

第九〇三空

人事局・横、吳、佐、舞各人事部

機密第二六一六三四番電

戦局ノ現状ヨリ人事處理ノ完璧期シ難キト連絡ナキ爲關係書類ノ送付不能ナルヲ以テ爾今人事關係一切電ニテ處理サレ度。

東通註 本電發信者不明ナルモ着信者及通信系ヨリシテ父空ト思考ス

通一三九四三 呂一C (B) 横須賀

海軍 石田 (吉田)

第十課



三二六

受信二三四五

譯了二三〇〇 電一二一七八

航作 本概

● 木更津航空基地

● 第七基地航空部隊 戰鬥概報着信艦所。谷田部空。筑波空

● 聯合艦隊口。厚木、第二鈴鹿各航空基地
第一〇一戰隊口。第一〇一戰隊口

機密第二六一八四五番電

發 第三航空艦隊參謀長

天一號作戰第二次展開（飛行隊及隨伴基地員等）ノ發動ハ六〇部隊
ノ外三十日ノ豫定。

通二三九二七 呂一B少五（四〇四五K）三A少口 石田（雨谷）

260

人

四一
一
開始一七七一
九

一
一九五〇
頁〇一六八五
作概〇

第三南遣總隊第十一移動通信隊

南西方面

次官・人事局長・聯合總隊長

機密第二七一〇一五番電 四分ノ三

マニラを以テ前以テ期セラレ既ニ覺悟ヲ決セラレアリシモノト
 判ゼラレ日常部下ヲ愛セラルコト切ニシテ信賞必罰ヲ「モツト
 下トセラレ部下ノ努力ニ對シテハ常ニ氣ヲ配ラレ居ラレタリ專
 實三日「マニラ」ハ遂ニ敵米軍ノ侵入スル所トナリ「マニラ」市内
 ニ於テ激戰ガ展開セラレテヨリ司令官ノ御多忙ハ云々ニ及バザル
 コト勿論作指導ニ部下ノ激勵ニ全夜モ眠ラレ日少ナカリキ七
 日ヨリ激戰ハ次第ニ東部ヨリ西部ニ移リ九日ニ至リ司令部地區ハ
 戰場下化シ司令官ハ東南方據點ニ對スル
 通信誤認本陣同分ノ「三四未差」

這五〇二 天日ヲ十二一九一四五〇一高二取

261



受信一五四六
譯始一五四六

譯了二六四五
電一二六二二
作概四〇

東 通

通・二一 通

機密第二七一 一二三番電

發 第二五根據地隊司令官

宛 一〇日參謀長

調報 大海參一部長・第二南遣艦隊參謀長

第二八根據地隊ノ現状ハ「マノクワリ」及「ナビレ」ニ配備ノ第一

八營備隊ノニシテ同司令官ニ八根據地隊司令官職務ヲ代行同司令

部職員ヲ軍機長ノニシテ第二八根據地隊改編ノ際第二八根據地隊ヲ

モ改編ニ依リ第二八根據地隊ノ現管轄下同職ニ舊ノ四門遣艦隊管下

通一四四二二
ロニBケ五八一八EC
二一 通

ヲ第二五根據地隊ニ包括セシメラルルヲ適當ト認ム
追テ第二八根據地隊ニ特殊ナル事情アラバ第二五根據地隊司令官ヲ
シテ之ガ職務代行モ一案ト考フ。

262



幸急親展

東

通

局長	一課長	A	L
B	工勇	K	半
三	八	C	密
二	八	H	D
七	〇		

文信二一三一〇八

譯了二四四八

電一二八三二

作概本

無線艦所用共通符號

秘密第二七一五四七番電

高雄警備府參謀長

軍務局長

通報 大海 參一部長 運輸本部長

高雄商ハ敵攻略船團ノ近接ニ先立子之ヲ閉塞ノ要アル處頻繁ナル空

襲ニ依リ閉塞用資材(損害船)逐次喪失シ過度ニ遷延スルニ於テハ

其ノ時機失スルノ虞アリ因リテ今後大型船舶入港ノ目途無キ限リ閉

塞實行ノ時機ハ現地ニ一任ノコトニ取計ヲ得度返。

一四六三三 呂一〇七十八(一三五二〇)高雄

263

三一七

受領二三三九
開始二三〇五

開丁二八

〇一四五

電二三九〇二

官房・軍務・一令
人事・教育・施本

東

通

高

通

機密第二七一六〇七番電

高警參謀長

軍務局長・人事局長・教育局長

通海 施設本部組織部長

高警海兵團第六期特別志願兵ハ現職局ニ於テハ無駄ナリ機密第一四

〇〇三四番電職員ノ補充ヲ得ザル限リ教育不可能ナルノミナラズ職

期ニ際シ却ツテ足手纏トナル虞アルヲ以テ四月一日採用通知ハ之ヲ

行フモ當分ノ間入團ヲ延期スルコトニ取計ヲ得度追テ第二期施設工

第一四六五〇 〇一Bラ十八八一三五二〇 高警海一 軍

第十信課

人事局
20.4.1
印

作兵タルベキ特別志願兵一二五〇名ニ就テモ同様ノ御取計ヲ得度
 若シ豫定通入團セシムルモノトセバ此ノ際高雄施設部教導設營班ニ
 左ノ職員至急配員相成度
 分隊長大中尉二名團附准士官五名下士官（教班長）（四五名）

第百
 十號
 限課

海
 2
 軍

264

三 二八 受取 〇〇三一〇八 丁〇四二二 電一三九〇〇 補人◎

第十信課

● 佐世保航空基地

● 東 通

● 龍崎航空基地

機密第二七一七二〇番電

發 九五一空司令部

宛 人事局長

當隊上海派遣隊分隊長森田(ヨヒ一六三六)佐伯宛ニテ東海操縦訓練中ノ虞三月二十五日遭難殉職ニ後任分隊長補充方取計ヲ得度追而後任分隊長ニハ最近迄同派遣隊附タリシ岡(五三一〇)ヲ適當ト認ム。

第一四七一五 天二日夕六(三二〇〇四)佐通 海 軍

265

三二九

受信〇〇四五 聯丁〇三五〇

電一三四七三

作務〇

東通・聯合艦隊口
吳通

機密第二八二〇二七番電 二分ノ一ニ

發 第二艦隊參謀長

宛 大海參一部長 聯合艦隊司令長官

通報 軍務局長 吳鎮守府司令長官

今後内海西部方面ニ對スル空襲激化シ時ニ機動部隊來襲頻度増加ハ

必至ト認ムルトニテ諸情勢ヨリ判斷當隊空母ノ措置ニ關シテハ左ノ

如レカニヨルヲ適當ト認ムルニ付至急然ルベク御取計ヲ得度

通一五三五二

呂二日ケ五

B

吳

厚木

一

一 將來作戰上至急使用ノ機會ヲ要ス場合ハ分散點泊偽粧ニ依リ之ガ保全ヲ期ス

二 取敢々天城ハ舞鶴方面ヲ又ハ鎮海ニ配備シAF龍鳳現有燃料ハ
 ○○艦ヲ分割使用概本回航所要量ヲ充足シ得ル見込ニシテ其ノ他
 現配備ニ使用ノ機會ヲシトスル場合ハ果斷ニ施策空母ノ全戦力ヲ
 徹底的ニ他ノ優先緊急戦備方面ニ充テシメス。

266

三二九

受信二二五〇〇
開始〇一〇〇〇

了〇一三一

電一三九四八

人
專令

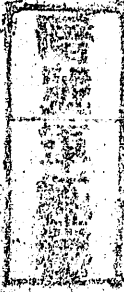
第電
子信
課

● 高

● 空

● 明治空基地

● 鹿屋空基地



機密第二九一九四八番電

發 第三航空艦隊參謀長

宛 二一〇空司令

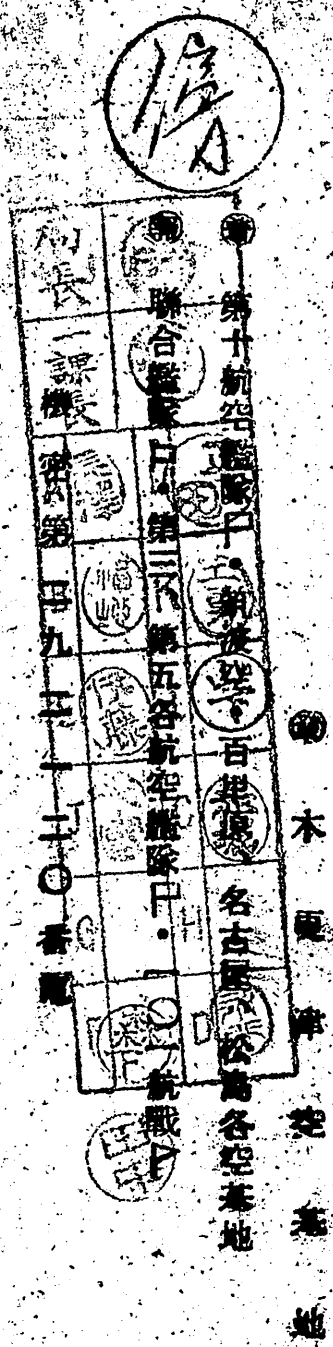
普官ハ負傷療養ノ要アリト認メラレ
テ解カレタルニ付圖數傳差サレ度。

第一五九五三 〇一日(日)作

海軍

267

三三〇 受信〇一四〇 譯始〇三〇〇 譯了〇三二五 電一三九四五 作概〇



三、A、B、C、D

航空機部隊ノ展開時期及基地ニ關シテハ第七基地航空機部隊指揮官（鹿屋）後令セラルル豫定ナルモ豫當リ艦艇一國分・艦攻串良・零戦笠ノ原・陸攻鹿屋トシテ現配備基地ニアリテ極力戦力ノ増強ニ努力サレ度尙展開協力輸送機ノ準備上必要ニ付要空輸人員物件（重量）ヲ速報得度。

通一六〇四五 口一Bケ五（B）木更津

267



東 通・一〇通

機密第三〇一九二〇番電

發 第二十五根據地隊司令官
 宛 第十方面艦隊參謀長 人事局長
 舊第四南遣艦隊司令部附原山(ソ五一二三) 精神分裂ニテ第百四病
 院ニ入院

通一六七五七 呂一Bケ五(六一二二五K) 二一 通海 軍

電一四六二二 人事

第十偵察隊